

事業報告

<研修名>

令和元年度 大分県公共図書館等館長研修

<開催日時>

令和元年5月22日（水） 13:00～16:15

<参加人数>

20名

<研修趣旨>

公立図書館等の館長など、管理的な立場の職員に対し、図書館の管理・運営、サービスに関する専門知識や、図書館を取り巻く社会の動向等について学ぶ研修機会を提供することにより、県内全体での図書館の活性化と情報共有を図る。

<研修内容>

【講義】「これからの図書館の可能性 ～地域を元気にする施策とは～」

講師：奈良大学文学部 教授 嶋田 学 氏

【ワークショップ】

滋賀県東近江市や岡山県瀬戸内市の図書館の豊富な事例を元に、まちづくりの中で、図書館が果たす役割について講義がありました。そのために、地域の属性について知ること、資料の利用状況を分析すること、貸出冊数だけでなく豊かなサービス指標を持つことの重要性や行政や市民とのネットワークについて説明がありました。

後半は、講師をファシリテーターに、グループでワークショップを行い、情報交換をしました。

<当日の様子（写真）>

【講義】「これからの図書館の可能性 ～地域を元気にする施策とは～」

講師：奈良大学文学部 教授 嶋田 学 氏



【ワークショップ】



＜参加者感想＞

- 「いかに豊かな指標で図書館を評価すべきか」このひとことが最も胸に響きました。
- 図書館は情報ニーズが集まる場所で、課題を集め、調べたいという思いにつながるようにというのが参考になりました。
- これからの図書館の役割を確認できる機会となりました。
- ワークショップでは新任館長の方々と話す機会となって良かったです。